



申16号賃上げ、夏季手当緊急再申し入れ提出！！

現場からは、不満の声が噴出しているぞ！！

- ・格差ベアですね。一律でない。
- ・回答日を前倒しにすることで他社と比較されないようにしたかったと見えます。
格差ベアについても、物価上昇は役職問わず平等に影響するので、格差が広がるのは好ましくないように思います。

- ・正直会社の回答には期待していません！いつもの先行き不透明と言いながら出さない姿勢、出たくない姿勢が表れていると思います！

新幹線の分離についても、安全、安全って言いながら、現場に企画業務を押し付けて、本来業務に支障が出ていると思います！保線の人が駅にきて定期多売やっている時間があれば、修繕などに集中できるようにすべきだと思います！

- ・今回も格差ベアでお金が欲しければ上位職を目指しなさい。上位職になるにはもっと会社に尽くしなさい。ということをしていると思いました。ボーナスについては社友会は厳しい経営環境でも昨年より0.1も増やしてくれた。と言いそうです。

- ・新幹線列車分離にしても、社長が会見しないとは、情けない企業です…。物価や光熱費など支出が大幅増に対して賃金の上昇が追いついていません。経営陣は身を切ることもせず、社会からズレ過ぎだと思います。

- ・多く出てる様に書いてあるがよく見れば管理職手当とか含まれている。あの金額をもらえる人なんて殆どいない。平均が書いてあるが自分がその年齢になってもその金額をもらえるとは思えない。

業務部速報

No. 84
発行 25.3.11
JR東労組 業務部

格差1.5倍、夏季手当+0.1ヶ月のみでは
到底納得いかない！！

申16号 現場第一の姿勢で職責を超えて奮闘する職場の努力に報い、生活とモチベーションの維持・向上の実現を求める緊急再申し入れ

本日提出！

申12号および申13号の団体交渉において、組合員・社員の厳しい生活実感や、過去最高の働き度となっている労働実態、離職やモチベーション低下に対する危機感を訴え、職場の本音と現実を会社として十分に把握し、判断すべきと強く求めてきました。

また、3月6日回答を受けた直後に、東北新幹線の列車が分離するという「重大インシデント」が発生し、運輸安全委員会から調査を受ける事態となりました。職場では輸送の確保と旅客案内に全力で取り組んできました。あらためて、現場は職責を超えて奮闘していることを真摯に受け止め、職場の声に伝える姿勢が求められています。

JR東労組は、JR総連春闘として一貫して掲げた要求と、組合員・社員の現実や声を大切にし、回答が示されて以降も職場議論を積み上げてきました。

したがって、現場第一の姿勢で職責を超えて奮闘する職場の努力に報い、生活とモチベーションの維持・向上を実現するため、

要求満額での回答を強く求めます！

新賃金と夏季手当の回答を撤回し、

1. JR東労組組合員・社員の基本給を一律15,000円引き上げること。
(定期昇給を含まない)
2. 2025年度夏季手当を基準内賃金の3.2ヶ月とすること。

会社回答に対する職場からの声

「物価高に賃金が追いつかない」「過去最高の働き度なのに」「ベアの格差拡大は認められない」「早期回答の春闘破壊だ」「金力で取り組んだ評価がプラス0.1ヶ月なのかな」「不満や不信、納得できない」との声。

会社から「最大限」として示された回答に職場からは、到底納得いかないとの多くの声。

私たちは騙されない！要求満額勝ち取るぞ！